

決算の特徴

平成28年度における歳入歳出差引額は12.9億円の黒字となりました。

歳入は、市債が、斎場整備事業や消防施設整備事業などの建設事業債が減少した影響で5.3億円減少したものの、市税が、固定資産税や軽自動車税の増加などにより2千万円増加したこと、国・県支出金が、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金や地域密着型サービス等事業費補助金などの増により4.1億円増加したこと、また繰越金が3.7億円増加したことなどにより、歳入規模は前年度と比べ2億円増の280.8億円となりました。今後も多様化する行政需要に対応するためには、市税等の収納率向上など自主財源を確保していく必要があります。

歳出は、各種の扶助費が年々増加していることから、歳出規模は増加傾向にあります。平成28年度は斎場整備事業や熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療運営費補助金の減などにより衛生費が3.4億円減少したものの、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業などの国の施策に伴う事業の影響や国民健康保険事業費特別会計への繰出金の増により、民生費が9.7億円増加したこと、また、忍・行田公民館建設事業や学校給食施設設備改修事業などにより教育費が2.6億円増加したことなどにより、歳出規模は前年度と比べ4.9億円増の267.8億円となりました。

平成28年度に取り組んだ主な事業

民生費

<前年度比9億6,741万円(10.0%)の増加>

●障害者自立支援給付事業	12億7,749万円
●子ども医療費支給事業	2億3,222万円
●放課後児童対策事業	1億9,379万円
●児童手当支給事業	12億2,028万円
●生活保護事業	13億9,812万円

土木費

<前年度比2,169万円(0.7%)の減少>

●道路新設改良・維持事業	7億486万円
●橋りょう新設改良・維持補修事業	5,292万円
●河川等改修・維持管理事業	1億8,143万円
●総合公園プール跡地再整備事業 (第2自由広場)	1億5,908万円

教育費

<前年度比2億5,734万円(8.0%)の増加>

●幼稚園就園奨励事業	1億3,130万円
●少人数学級編制事業	1億2,838万円
●小・中学校トイレ改修事業	3億9,090万円
●英語教育推進事業	4,739万円
●忍・行田公民館整備事業	3億2,162万円
●多子世帯学校給食費給付事業	712万円

衛生費

<前年度比3億4,169万円(17.9%)の減少>

●救急医療体制等整備事業	3,254万円
●健康づくり推進事業	151万円
●予防衛生事業	1億7,285万円
●斎場整備事業	2,405万円
●ごみ処理事業(可燃・不燃)	5億2,609万円
●資源リサイクル事業	9,548万円
●し尿処理事業	1億1,542万円

総務費

<前年度比7,140万円(2.3%)の増加>

●子育て世帯定住促進奨励金事業	5,440万円
●新地方公会計制度導入事業	798万円
●ふるさと納税事業	1,689万円
●ふるさとづくり事業	2,000万円
●秩父鉄道新駅整備事業	8,094万円
●循環バス運行経費補助事業	7,841万円

その他

●田んぼアート米づくり体験事業	1,000万円
●農道及び農業用排水路整備事業	7,708万円
●起業家支援事業	1,173万円
●産業交流拠点整備事業	979万円
●中小企業振興事業(エコミックガーデニング)	1,469万円
●企業立地促進事業	1億1,943万円
●わらアート制作事業	678万円
●消防車両整備事業	3,173万円
●自動体外式除細動器(AED)設置事業	564万円



ALTによる英語教育



忍・行田公民館整備



総合公園プール跡地再整備
(第2自由広場)



田んぼアート米づくり体験

行田市の家計簿をお知らせします

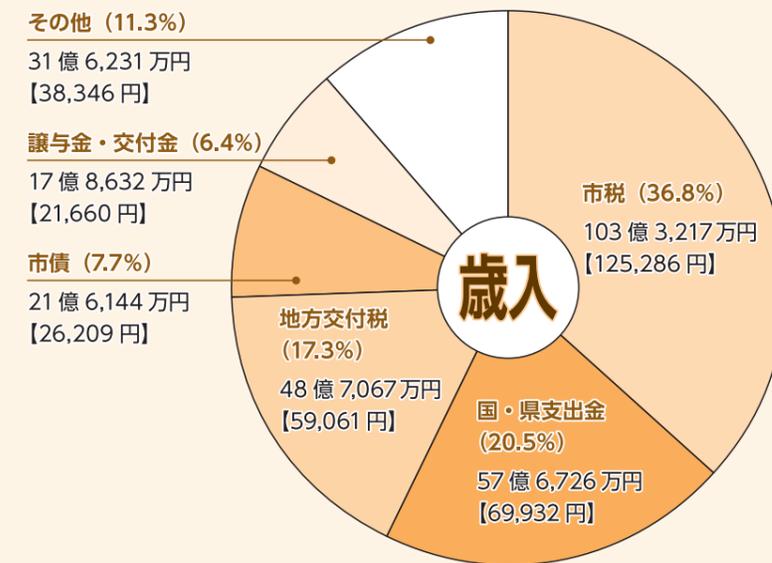
平成28年度 決算報告

平成28年度の決算がまとまりました。決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするもので、自治体の家計簿といえるものです。

市民の皆さんからいただいた大切な税金などの収入がどのくらいあって、どのように使われたのかを見てみましょう。

一般会計

歳入総額 280億8,017万円 [340,494円] 前年度比 2億52万円 (0.7%) の増



市税

家屋の新増築および企業の設備投資による資産の増に伴う固定資産税の増や、軽自動車税の増により、前年度比1,947万円の増となりました。

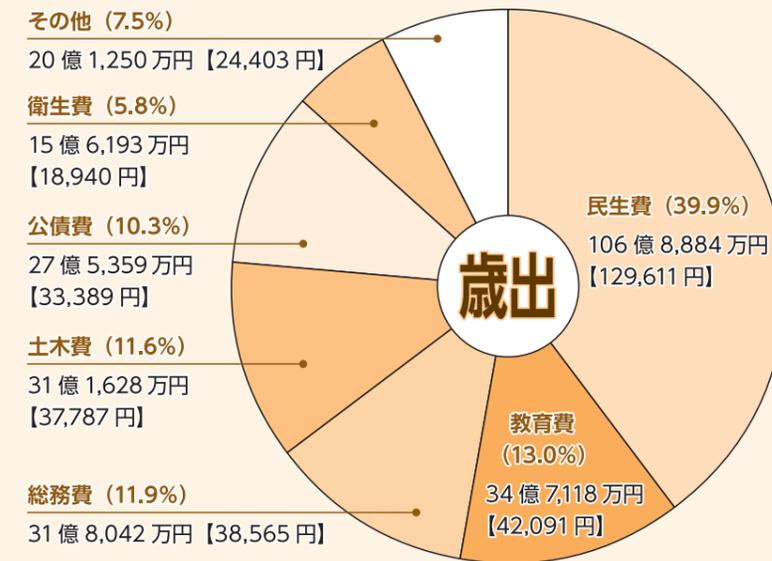
国・県支出金

年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金や地域密着型サービス等事業費補助金などの増により、前年度比4億589万円の増となりました。

市債

斎場改修事業や消防施設整備事業などの建設事業債が減少したことにより、前年度比5億3,279万円の減となりました。

歳出総額 267億8,474万円 [324,786円] 前年度比 4億8,864万円 (1.9%) の増



民生費

国民健康保険事業費特別会計への繰出金、地域密着型サービス等事業費補助金、自立支援サービス等給付費などの増により、前年度比9億6,741万円の増となりました。

教育費

忍・行田公民館建設事業、学校給食施設設備改修事業などの増により、前年度比2億5,734万円の増となりました。

衛生費

斎場改修事業、熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療運営費補助金の減などにより、前年度比3億4,169万円の減となりました。

歳入から歳出を引いた12億9,543万円は平成29年度に繰り越しました。

※【 】内の数値は、市民1人当たりの額です。